

令和2年度

事業報告書

特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング

1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため2月以降、ファミリーハウスや小児病棟で実施していた手作りの食事支援活動を中止せざるを得なくなり、5月以降はオリジナル缶詰、企業から寄付いただいたレトルト食品など衛生面に配慮した食品の配布に切り替えた。このような状況ながら支援先は昨年度より1か所（東京医科歯科大学医学部附属病院）増やすことができ、今年度は4施設合計で960名の付き添い者を支援することができた。

一方、緊急コロナ禍支援策として4～5月にかけて全国主要病院の小児病棟、ファミリーハウス（58か所）に付き添い者用のマスクを4250枚配布。さらに4月末～5月初めにかけて全国の付き添い者を対象に「コロナ禍緊急アンケート調査」を実施し、そこから困り事を抽出し、3つの支援策を実行した。

- ① プレイルームの閉鎖…要望のあった小児病棟（6か所）におもちゃ・絵本・児童書等を寄贈。
 - ② 付き添い者の外出・交代の制限…2週間以上の入院付き添い者を対象に付き添い生活に必要な生活用品（食品、マスク、消毒薬、化粧水、タオル、下着、衣類等）を詰め合わせた「付き添い生活応援パック」を無償提供（850名に配布）。
 - ③ 面会制限による親子分離不安…オンライン面会を支援するために全国主要病院の小児病棟とファミリーハウス（39か所）およびひとり親・生活困窮世帯を中心に付き添い家族（150家族）に携帯端末（iPhone 6）と通信費を無償提供。
- ②、③の事業については Ready for 新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金の助成を受けて実施した。また、②、③の事業では WEB アンケート調査にて受益者の評価を取り、支援内容の見直しに役立っている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【7,106】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 妊娠に関する情報発信および支援事業、普及啓発活動	令和2年度は活動実績なし						0
(2) 出産に関する情報発信および支援事業、普及啓発活動	令和2年度は活動実績なし						0
(3) 女性の健康に関する情報発信および支援事業、普及啓発活動	令和2年度は活動実績なし						0
(4) 子育てに関する情報発信および支援事業、普及啓発活動	①小児病棟、ファミリーハウスで付き添い入院中の家族への食品提供 ②小児病棟・ファミリーハウスに付き添い者用のマスクを配布 ③小児病棟におもちゃ・絵本・児童書等を寄贈 ④小児病棟で長期付き添い中のご家族への「付き添い生活応援パック」を無償提供 ⑤小児病棟、ファミリーハウス、付き添い者を対象にオンライン面会支援（iPhone 端末機器+通信費無償提供）	①令和2年4月～毎月1回 ②令和2年4月～5月 ③令和2年6月～7月 ④令和2年10月～毎週1回 ⑤令和2年10月～令和3年3月末 ⑥令和2年4月末～5月上旬 ⑦令和2年10月～ ⑧令和3年3月	①マクドナルドハウスせたがや、聖路加国際病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、佐賀大学医学部附属病院 ②小児病棟、ファミリーハウス ③要望のあった小児病棟 ④小児病棟等 ⑤小児病棟等 ⑥オンライン ⑦オンライン ⑧オンライン	①6名程度/回 ②3名 ③3名 ④6名程度/回 ⑤5名 ⑥2名 ⑦2名 ⑧2名	①1回20名 ②全国病院130施設 ③全国病院130施設 ④全国病院毎週30名 ⑤全国病院130施設 ⑥全国病院130施設 ⑦送付数850名 ⑧送付数39施設	①960名 ②4250枚 ③6施設 ④850名 ⑤39施設 付き添い家族150家族 iPhone550台配布 ⑥30名（回答者） ⑦400名（回答者） ⑧34施設	7,106

	⑥「コロナ感染拡大時期における入院中の子どもと付き添い家族の困りごと・不安調査」実施 ⑦「付き添い生活応援パック満足度調査」実施 ⑧「iPhone 活用に関するアンケート」〈施設向け〉実施						
(5) その他、この法人の目的を達するために必要な事業	令和2年度は活動実績なし						0

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
広告掲載事業	団体ウェブサイトへの広告掲載 →令和2年度は実績なし				0